# プログラミング基礎 #04 条件分岐

担当: 向井智彦

#### 前回のまとめ

- 変数: 1つのデータを一時保存できる
  - 変数宣言「int a; 」, 代入(上書き)「a = 10; 」
  - 変数からの代入(読み出し) 「int b = a; 」
- 配列: 同じ型の複数の変数を添字付きで格納
  - 配列宣言「int a[10]; 」
  - 配列の先頭番号は 0 「a[0] = 1; J...「a[9] = 10; J
- ・変数を用いた演算
  - 「a = a + b + 10 \* a;」など代入演算子 = の 左右に同じ変数が登場する際の動作

### 本日の内容

- ・ 目標: 簡単な数字当てゲームの作成
- ・講義内容: 条件による分岐処理
  - ブール型変数 bool, true, false
  - 条件分岐 if () { ... } else { ... }
  - -標準入力ストリーム cin
  - プログラムファイルとコンパイル(?)

#### @ wandbox.org

```
#include <iostream>
using namespace std;
int main() {
  int x = 5, y = 6;
  if (x > y) {
    cout << x << " is larger than " << y << endl;</pre>
  else {
    cout << x << " is smaller than " << y << endl;</pre>
```

### 文法図解

```
#include <iostream>
using namespace std;
int main() {
 int 条件式 y = 6;
 if (x > y) { | 条件式が成立するときに実行される文
   cout << x << " is larger than " << y << endl;</pre>
 else { |条件式が成立しないときに実行される文
   cout << x << " is smaller than " << y << endl;</pre>
```

## ブール(bool)型

- ・ 真理値とか 真偽値
  - 真: true あるいは偽: false
  - true の否定 は false, falseの否定はtrue
    - 数学「命題・論理」と関係(学んでなくてもOK)

```
bool a, b;
a = true;
b = !a; //否定演算
c = a * 2 + b * 2; // あり得ない演算
cout << a << ", " << b << ", " << c << endl;
```

## 比較演算: 演算結果はbool型

※以下, a と b は任意の型(int, char, double, bool,…)

- 一致「a == b 」(代入「= 」と混同しないよう注意)
  - -aとbが同じ値であれば true, 違うなら false
- 非一致「a!= b」
  - a と b が異なる値であれば true, 違うなら false
- 大なり「a > b」, 以上「a >= b」
  - a が b より大きい値ならtrue, 小さいなら false
- 未満「a < b」,以下「a <= b」
  - a が b より小さい値ならtrue, 大きいなら false

## 比較演算の具体例

```
bool quiz[5];
quiz[0] = 10 != 2;
quiz[1] = 3.0 == 3.0;
quiz[2] = 10 < 2;
quiz[3] = 5.0 * 2.0 >= 20;
quiz[4] = !(8 + 2.0 > 10 * 2);
```

比較演算より早く実行される算術演算

## 真偽値の論理演算

※ a と b はどちらもbool型

- 否定「!a 」「!b 」
  - true の否定は false, false の否定は true
- 論理和「a | b 」
  - -aとbのいずれか true なら, 結果は true
  - -aとbの両方が false の時, 結果は false
- 論理積「a && b 」
  - -aとbの両方が true なら, 結果は true
  - -aとbのどちらかが false なら、結果は false

## 論理演算の具体例

```
bool t = true, f = false;
bool quiz[4];
quiz[0] = t \&\& f;
quiz[1] = t || f;
quiz[2] = f && (t || t);
quiz[3] = (f \&\& f) || t;
```

## 比較演算と論理演算

```
int a = 1, b = 2, c = 3;
bool quiz[4];
quiz[0] = a < b && b <= c;
quiz[1] = a <= b | | a < c;
quiz[2] = [a - b > 0] && c - a > 0;
quiz[3] = a > 0 & b > 0 & c > 0;
```

論理演算より早く実行される比較演算

#### 条件分岐 if & else

・ 真偽値true/falseに応じて異なる処理を行う、 処理分岐のための制御構文

```
int main() {
 int 条件式: 真偽值: 比較演算&論理演算
 if (x > y) { | 条件式がtrueの時に実行される文
   cout << x << " is larger than " << y << endl;</pre>
        |条件式がfalseのときに実行される文
   cout << x << " is smaller than " << y << endl;</pre>
```

#### 条件分岐の具体例

```
double x = 11.0, y = 13.0;
if (x == 10.0 \&\& y < 20.0) {
    cout << "A" << endl;</pre>
} else if (!(x >= 10.0) || y >= 10.0)
    cout << "B" << endl;</pre>
           青条件式が満たされず,緑条件式が成り立つなら
} else
    cout << "C" << endl;</pre>
```

### まとめ

- bool型
  - true と false のいずれかのみ
- 比較演算
  - 数値の等しさ・大小関係をbool型で評価
- 論理演算
  - bool型変数に対する論理和・論理積
- 条件分岐
  - bool値に応じて異なる処理を行う仕組み

## 講義しなかったこと

- 論理演算「&」「|」と「&&」「||」との違い
- 排他的論理演算「^」
- switch 文
  - 整数値に応じた条件分岐
    - (if文はブール値に応じた分岐)

## 演習課題01: 球体の諸特徴量

提出期限:10/29(月)、ファイル名:04-01.cpp

- 入力された球の半径に対し、球の表面積より体積が大きい場合は「Volume is larger.」、体積より表面積が大きい場合は「Area is larger.」、同じ場合は「Equal!」と出力するプログラムを作成
  - 球の半径をcinより取得
  - 球の表面積と体積を計算
  - 両者の比較し結果に応じたメッセージを出力

#### 演習課題02:ソート

提出期限:10/29(月)、ファイル名:04-02.cpp

- 入力された3つの浮動小数を大きい順に並べ 替えて出力するプログラムを作成
  - 3つの整数を半角スペース区切りで入力
  - 例:「4 -1 200」
- 4つ以上の浮動小数も扱えるように拡張した ら加点

## 演習課題Extra(やらなくてもOK)

提出期限:10/29(月)、ファイル名:04-ex.cpp

- プログラム中に隠された正の整数を推理する ゲームを作成
  - プレイヤーの入力はcinより取得
  - 入力した数字が正解より大きいか小さいか、ヒントメッセージとして出力
    - メッセージは任意
  - ヒントメッセージの工夫に対して加点
    - 例: 数字そのものの大小関係に加え、約数の数の大 小関係も出力する、たまにウソをつく、などなど
    - ・ 工夫した点をプログラムコード中に // コメント

#### 標準入力ストリーム cin

```
# include <iostream>
int main()
   int x, y;
   // キーボード入力を変数x, yの順に代入
   std::cin >> x >> y;
   std::cout << x << ", " << y;
```

```
# include <iostream>
   int main()
      int x, y;
      // キーボード入力を変数xに代入
      std::cin >> x
      std::cout
20
                -Wextra -I/opt/wandbox/boost-1.68.0/gcc-head/include -std=gnu++2a
$ g++ prog.
Stdin
                        wandboxでは「Stdin」の欄に記入
 265 834
                        複数の数字は空白スペースを挟んで記入
 Run (or Ctrl-Enter)
          Share
 #5
       Cøde
 #4
```

## 来週の予告

- 反復(for, while)
- ・ 変数のスコープ
- プログラムファイルとコンパイル